

## ●ミラクルソル協会 環境配慮へ積極活用促す



ガラス廃材を再資源化した新素材「ミラクルソル」の建材活用を推進するミラクルソル協会(原裕理事長)は14日、東京都内で第23回総会を開催し、技術講習会や現場見学会の開催、官公庁やコンサルタントへの工法普及活動などを盛り込んだ2022年度の事業計画を決めた。

あいさつに立った原理事長=写真=は、気候変動による豪雨・土砂災害への備えの必要性について、「カーボン

ニュートラルを50年に実現するとのことだが、40年には気温が1.5度上昇すると言われている。われわれ建設業も積極的に環境問題に参加し、気候変動などの現状を抑制していかなばならない」と述べた。その上で環境に配慮したミラクルソルの必要性を強調し、ミラクルソル工法の積極的な情報発信を会員に呼び掛けた。

総会に続き、国土交通省水管理・国土保全局砂防部の伊藤仁志保全課長が「土砂災害への取り組み」をテーマに特別講演を行った。